

Game Report

開催場所：九州国際大学 平野記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 10 月 1 日(土)

試合時間：15:00~

主審：岩尾 圭治

副審：小川 隆三

| | | | | | | |
|--------|----------|----|-------|----|----------|--------|
| 九州産業大学 | ● 5 7 | 17 | —1st— | 17 | ○ 6 4 | 鹿屋体育大学 |
| | | 17 | —2nd— | 18 | | |
| | | 10 | —3rd— | 8 | | |
| | | 13 | —4th— | 21 | | |

第 1 ピリオド

序盤、九産大 # 1 1 金丸、# 3 0 松川の 3 P シュートが立て続けに決まる。一方鹿体大は、シュートを狙うもなかなか得点することが出来ない。九産大は、# 2 9 船越のインサイドプレーや合わせのシュートを確実に決め得点を重ねる。鹿体大はアウトサイドシュートと 1 対 1 のプレーを中心に攻撃し、与えられたフリースローを確実に決め、九産大に食らいつく。終盤、鹿体大 # 3 0 深江、# 2 9 宮崎の 3 P シュートなどが決まり、17-17 で第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

開始早々、流れを掴みたい鹿体大は # 4 3 横川、# 6 森山がシュートを決めると、対する九産大も # 5 8 鈴木、# 2 4 金城のシュートなどですぐさま追いつく。激しいディフェンスの中、互いにミドルシュートを中心に得点を重ね、両チームとも一歩も譲らない白熱した戦いが繰り広げられる。34-35、鹿体大 1 点リードで第 2 ピリオド終了。

第 3 ピリオド

第 2 ピリオドとは一転して、両チーム共に得点がなかなか伸びず、我慢の時間が続く。その苦しい状況を先に抜け出したのは九産大。# 5 8 鈴木、# 4 7 宮崎のシュートで少しずつ得点を重ねる。流れが変わったのは残り 2 : 1 0。鹿体大 # 4 3 横川の速攻からのレイアップシュート、# 2 1 林のシュートが立て続けに決まり、流れを掴みかける。残り 1 : 1 0、九産大は悪い雰囲気を出し切ろうと、タイムアウトを請求。タイムアウト後は、互いに得点出来ず、43-44 で最終ピリオドを迎える。

第 4 ピリオド

九産大は巧みなパスワークから # 1 1 金丸、# 3 0 松川の 3 P シュート、# 2 9 船越のシュートで得点を重ねる。鹿体大は残り 4 : 4 1、# 2 5 石山がシュートを決めると、そこから立て続けに 2 本連続で得点し、九産大からリードを奪う。対する九産大は、残り 3 : 4 3、たまたまタイムアウトを請求。しかしタイムアウト後も、鹿体大 # 4 3 横川の 3 P シュート、激しいリバウンド争いからの # 2 9 宮崎のシュートが決まり、九産大は勢いに乗る鹿体大を止めることが出来ない。残り 3 0 秒、九産大はファウルゲームに出るも、開いた点差を埋めることは出来ず、64-57 で鹿体大が接戦を制した。